

## 第6回 生物多様性シンポジウム

# 越後平野の水辺の未来を描く



白鳥渡来地で有名な阿賀野市の瓢湖が、昨年、佐潟に続いて越後平野2番目のラムサール条約登録湿地となりました。瓢湖では、鳥インフルエンザへの警戒感などから、水鳥への餌付け規制の論議がおきています。村上市の御幕場大池では、来訪者による餌やりが放任されており、水質汚濁が極度に進行し、希少なトンボが絶滅するなどの問題がおきています。

新潟県内には、福島潟や鳥屋野潟、上越地域の朝日池など、ラムサール登録基準を満たしながらも、条約の「ワイズユース」の精神が浸透せず、足踏み状態となっている湖沼もあります。

本シンポジウムでは、県内各地の湖沼の事例を検証しながら、改めてラムサール条約の「ワイズユース」と「水辺環境の保全」について考えます。また、湖沼や河川、水田地帯を含めた越後平野全域の、ラムサール条約登録の可能性についても検討したいと思います。

- ◆ 期 日 2009年3月15日(日)
- ◆ 会 場 新潟市 豊栄ふれあいセンター  
新潟市北区東栄町1丁目1-18 電話: 025-387-5965
- ◆ 日 程  
9:30~ 受付 ・お昼の弁当注文受付(700円) ・資料代500円  
10:00~ 開会の挨拶 石月 升 (NPO新潟水辺の会副代表)  
祝辞: 新潟市長 篠田 昭 氏

- 10:20~ 基調講演  
・本田清氏 (日本白鳥の会創立会員)  
**白鳥から見た  
越後平野の現状と将来展望**  
・金子与止男氏 (岩手県立大学総合政策学部教授)  
**湿地の保全と持続可能な利用**

- 12:40~ 昼食休憩 エクスカーション: 福島潟 潟舟体験
- 14:00~ パネルディスカッション

- ・大熊 孝 氏 (NPO新潟水辺の会代表): コーディネーター
- ・本田 清 氏 (講師・アドバイザー)
- ・金子与止男氏 (講師・アドバイザー)
- ・佐藤 安男 氏 (佐潟水鳥・湿地センター)
- ・佐藤 巖 氏 (瓢湖の白鳥を守る会)
- ・福井 宣明 氏 (NPOねっとわーく福島潟)
- ・藤田 正 氏 (自然豊かな鳥屋野潟とまちづくりをすすめる会)

- 16:30 閉会の挨拶 諸橋潔 (生物多様性保全ネットワーク新潟代表)

- 17:00~ 交流会 大倉屋(会費 4,000円) 025-387-2017 ...シンポジウム会場から徒歩約5分

- ◆ 主 催 生物多様性保全ネットワーク新潟 ・NPO法人 ねっとわーく福島潟 ・NPO法人 新潟水辺の会

- ◆ 共 催 瓢湖の白鳥を守る会 ・鳥屋野潟21世紀の会 ・自然豊かな鳥屋野潟とまちづくりをすすめる会 ・佐潟環境ネットワーク  
佐潟と歩む赤塚の会 ・新潟県自然・環境保全連絡協議会 ・にいがた市民環境会議

- ◆ 後 援 環境省関東地方環境事務所 ・新潟県 ・新潟市 ・豊栄土地改良区 ・(財)こじ水と緑の会  
ラムサールセンター ・(財)日本野鳥の会 ・日本白鳥の会 ・(財)日本自然保護協会



白鳥写真はいずれも  
本田清氏著「白鳥の湖」から

連絡  
問い合わせ

生物多様性保全ネットワーク新潟事務局 ・Tel. 025-270-2010 Fax. 025-270-2011  
・Mail. Naturewk@basil.ocn.ne.jp URL. <http://www.geocities.jp/biodiversitynetniigata/>

この催しの運営費の一部に、(財)河川環境管理財団河川整備基金からの助成金を充当しています

生物多様性保全ネットワーク新潟 事務局 行き

FAX:025-270-2011

Mail .naturewk@basil.ocn.ne.jp

## 第6回生物多様性シンポジウム 参加希望票

2009年3月15日（日）

豊栄ふれあいセンター

※現時点での「予定」で結構です

ご氏名	
連絡先	電話 FAX
	メール

該当箇所に○印をつけて下さい

基調講演	
昼食弁当注文	
潟舟体験希望	
パネルディスカッション	
交流会参加	
ご意見 ご質問	